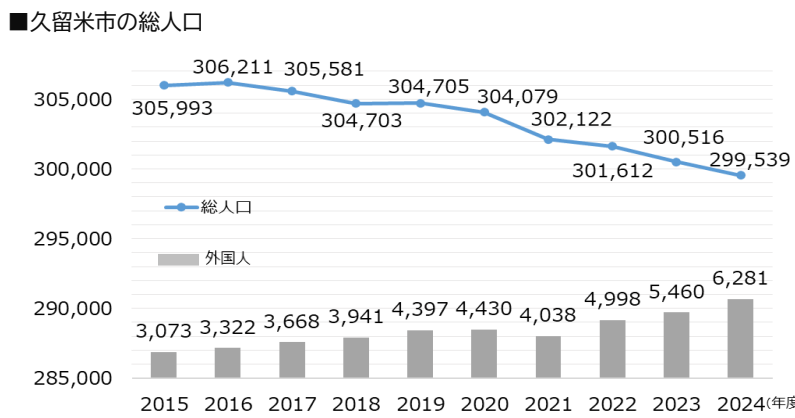
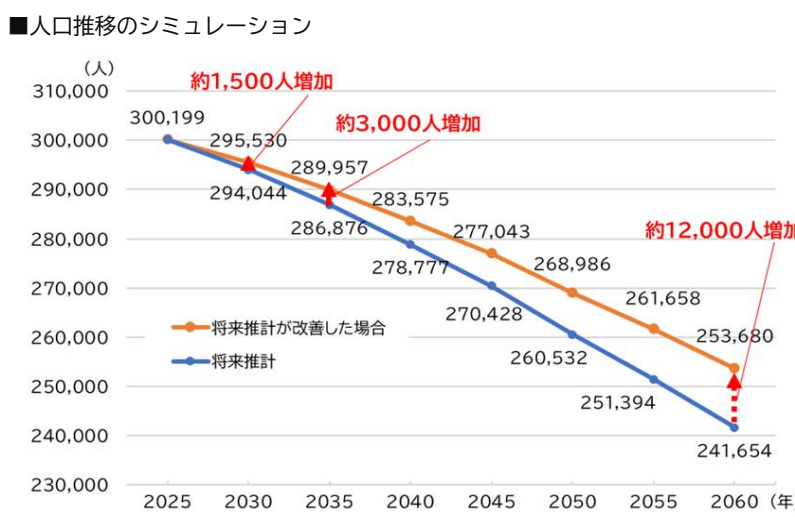


人口ビジョン		基本的視点	基本目標	施策の方向性	施策項目	施策																																	
1 人口の現状分析 ・総人口は、平成28(2016)年度の30万6,211人をピークに減少 ・自然動態は、出生数減少と死亡数増加により、マイナス幅が1,825人に拡大 ・社会動態は、転入数が転出数を上回っており、プラス傾向が継続 ・地域別では、福岡都市圏等への転出超過、県南地域からの転入超過 ・年代別では、日本人の男女ともに20歳から34歳までの若い世代が転出超過 ・外国人は、令和6(2024)年度に6,281人となり、10年間で約2倍に増加 ■久留米市の総人口 <table><caption>久留米市の総人口 (2015-2024)</caption><tr><th>年度</th><th>総人口</th><th>外国人</th></tr><tr><td>2015</td><td>305,993</td><td>3,073</td></tr><tr><td>2016</td><td>306,211</td><td>3,322</td></tr><tr><td>2017</td><td>305,581</td><td>3,668</td></tr><tr><td>2018</td><td>304,703</td><td>3,941</td></tr><tr><td>2019</td><td>304,705</td><td>4,397</td></tr><tr><td>2020</td><td>304,079</td><td>4,430</td></tr><tr><td>2021</td><td>302,122</td><td>4,038</td></tr><tr><td>2022</td><td>301,612</td><td>4,998</td></tr><tr><td>2023</td><td>300,516</td><td>5,460</td></tr><tr><td>2024</td><td>299,539</td><td>6,281</td></tr></table>		年度	総人口	外国人	2015	305,993	3,073	2016	306,211	3,322	2017	305,581	3,668	2018	304,703	3,941	2019	304,705	4,397	2020	304,079	4,430	2021	302,122	4,038	2022	301,612	4,998	2023	300,516	5,460	2024	299,539	6,281	1 人口減少や人口構造の変化の影響を見込んだまちづくり 2 若者や女性にも選ばれる魅力あるまちづくり	1 安心して働き、暮らせる地域をつくる 【数値目標】（R6→R12） 住み続けたいと思う市民の割合 76.8% → 80.0%	(1) 魅力ある働き方、職場の創出 (2) 安全・安心の暮らしづくり (3) ネットワーク型のコンパクトな都市の形成 (4) 多様な人々が活躍する地域社会の実現 (5) 地域に愛着を持ち、地域で活躍する人材の育成	① 多様な人材確保のための雇用・就労の促進 ② 働きやすい職場環境の整備促進 ① ハード・ソフト両面からの災害対策の推進 ② 生活安全対策の充実 ① コンパクトな拠点市街地の形成 ② 快適で便利な交通環境の構築 ① ジェンダー平等の推進と女性活躍の促進 ② 市民活動・地域コミュニティの活性化 ③ 多文化共生の推進 ① こども・若者が健やかに成長できる環境の整備 ② 安心して生み育てられる環境の充実 ③ 未来につながる教育の推進	学生・若者の地元就職促進、企業の魅力発信、女性の就労相談・支援 高齢者・障害者の就労機会確保、外国人材の受入れの国・県・関係団体との連携 ワーク・ライフ・バランス促進、女性活躍の意識啓発・能力開発の機会提供 福利厚生 の充実支援、職業能力の向上支援 流域治水の充実・推進、地域防災人材の育成、自主防災活動の活性化 防災DX推進による迅速な被災状況把握・情報発信、避難所の設備・備蓄品の充実 セーフコミュニティ活動のまちづくり、消費生活の教育・啓発・相談体制の充実 協働による防犯活動、こども・高齢者の交通事故防止 拠点駅周辺の市街地整備、地域生活拠点の生活利便施設の更新・誘導 空き家・低未利用地を活用した居住誘導の推進 持続可能な交通体系の形成、スマートインターチェンジの整備推進 生活支援交通の構築、官民連携やICTを活用した新たな移動手段の確保 固定的性別役割分担意識の解消、ジェンダー平等の意識づくり 男女の均等な雇用機会と待遇の確保、まちづくりや地域活動での男女共同参画の促進 市民活動促進の仕組みづくり、持続可能な市民活動の支援、まちづくり活動の支援 多様な人材の発掘・育成、様々な世代や多様な主体と連携する環境づくり 生活・行政情報の多言語化、地域や学校等での日本語の学習支援 相談窓口の充実、相互理解や交流活動の促進 こども・若者の意見表明と社会参画の機会確保、体験機会や相談支援の充実 居場所づくりの推進、出会いの機会創出や結婚支援の推進 切れ目のない子育て支援の充実、幼児教育・保育サービスの充実 こども・若者・子育てを支え合う活動の促進 学力の保障と向上の取組の充実、ICTを活用した学びの充実、特色ある教育の実践 久留米への誇りと愛着を育む教育の実践、コミュニティスクールの充実
年度	総人口	外国人																																					
2015	305,993	3,073																																					
2016	306,211	3,322																																					
2017	305,581	3,668																																					
2018	304,703	3,941																																					
2019	304,705	4,397																																					
2020	304,079	4,430																																					
2021	302,122	4,038																																					
2022	301,612	4,998																																					
2023	300,516	5,460																																					
2024	299,539	6,281																																					
2 人口の将来展望 【前提条件】 ・国県市の施策により、人口動態に一定の改善が図られると仮定 ・合計特殊出生率が、令和42(2060)年までに0.1ポイント改善すると仮定 ・10代・20代の日本人の純移動率が、0.5%改善すると仮定 【将来推計】 ・令和12(2030)年：将来推計 294,044人 → 295,530人【1,486人増加】 ・令和17(2035)年：将来推計 286,876人 → 289,957人【3,081人増加】 ・令和42(2060)年：将来推計 241,654人 → 253,680人【12,026人増加】 ■人口推移のシミュレーション <table><caption>人口推移のシミュレーション (2025-2060)</caption><tr><th>年</th><th>将来推計が改善した場合</th><th>将来推計</th></tr><tr><td>2025</td><td>300,199</td><td>300,199</td></tr><tr><td>2030</td><td>295,530</td><td>294,044</td></tr><tr><td>2035</td><td>289,957</td><td>286,876</td></tr><tr><td>2040</td><td>283,575</td><td>278,777</td></tr><tr><td>2045</td><td>277,043</td><td>270,428</td></tr><tr><td>2050</td><td>268,986</td><td>260,532</td></tr><tr><td>2055</td><td>261,658</td><td>251,394</td></tr><tr><td>2060</td><td>253,680</td><td>241,654</td></tr></table>		年	将来推計が改善した場合	将来推計	2025	300,199	300,199	2030	295,530	294,044	2035	289,957	286,876	2040	283,575	278,777	2045	277,043	270,428	2050	268,986	260,532	2055	261,658	251,394	2060	253,680	241,654	3 新たな価値と活力を生み出すまちづくり 4 デジタル技術を活用したまちづくり 5 地域内外の分野を越えた連携・協働のまちづくり 6 SDGsの理念を踏まえたまちづくり	2 稼ぐ力を高め、地域経済を成長させる 【数値目標】（R6→R12） 製造品出荷額 3,932億円 → 4,134億円 農業産出額 310億円 → 350億円	(6) 競争力の高い地域産業づくり (7) 魅力と活力にあふれる農業の推進	① 地域企業の成長の支援 ② 新産業創出・創業支援の推進 ③ 企業誘致の推進 ① 農業の生産性・付加価値の向上 ② 農業で活躍する担い手づくり ③ キラリと光る農業の魅力発信	地域経済をけん引する企業の成長支援 先端技術を活用した生産性向上等の経営力強化の支援 バイオ産業の拠点化推進、オープンイノベーションによるものづくり企業支援 若年層向け創業支援の充実・強化、創業ネットワークの推進 産業集積の受け皿となる新たな産業団地の整備 雇用創出や経済波及効果につながる成長分野企業の誘致推進 スマート農業や気候変動に対応した農業の推進、農業生産基盤の整備・保全 農地の利活用促進、農産物の高付加価値化や6次産業化による農業経営の多角化 基幹的な担い手の経営力強化、次世代の担い手の確保・育成 農福連携や外国人材の活用による多様な人材確保 農業体験など関係人口の拡大、農業都市くるめの魅力発信によるブランド力向上 地産地消による久留米産農産物の魅力発信と愛着醸成						
年	将来推計が改善した場合	将来推計																																					
2025	300,199	300,199																																					
2030	295,530	294,044																																					
2035	289,957	286,876																																					
2040	283,575	278,777																																					
2045	277,043	270,428																																					
2050	268,986	260,532																																					
2055	261,658	251,394																																					
2060	253,680	241,654																																					
人口目標 令和12（2030）年度末人口 29.5 万人			3 久留米市への新しい人の流れをつくる 【数値目標】（R6→R12） 大都市圏からの転入者数 (5年間平均) 3,424人 → 3,600人 観光入込客数 540万人 → 600万人	(8) 快適で暮らしやすい魅力的な拠点の形成 (9) 文化芸術・スポーツ・歴史遺産の活用による地域活性化 (10) 魅力を語りたくなる久留米イメージの創出・PR (11) 訪れたい・楽しみたい魅力の創出	① 魅力的な中心市街地の創出 ② 拠点公園の整備・再生によるにぎわい創出 ① 多彩な文化芸術活動の促進 ② スポーツを活かした地域活性化 ③ 歴史遺産の保存・活用 ① 久留米の魅力を広めたい戦略的なプロモーション ② 移住・定住を促す効果的な仕掛けづくり ① まちのにぎわいの創出 ② 地域資源を活用した観光ブランディング	J R久留米駅や西鉄久留米駅の拠点機能強化、歩きたくなる都市空間の形成 住環境やオフィス環境の充実、多様な主体と連携するエリアマネジメントの推進 広域的な求心力を備えた正源氏公園の整備、まちづくりの拠点となる公園の再整備 街路樹ネットワークの推進 文化施設の活用や地域・学校と連携した鑑賞・体験機会の充実 文化芸術を通じた交流やつながりづくりの促進、文化芸術の効果的な情報発信 身近にスポーツを楽しむ機会の充実、ジュニアアスリートの育成・支援 スポーツコンベンション誘致による地域活性化 史跡筑後国府跡の整備・活用、歴史遺産ストーリーによる筑後川遺産登録の推進 歴史遺産が持つ魅力・価値の効果的な情報発信 インナープロモーションの展開、若い世代に広がるデジタルコンテンツの充実 ふるさと大使等の活用 様々な媒体や手法を通じた久留米の情報に触れる機会の提供 移住・定住支援・相談プログラム提供、福岡都市圏をターゲットとした移住促進強化 中心市街地や地域商業エリアでの商業機能の維持・活性化 MICE誘致の推進・受入環境の整備、集客交流イベントによるにぎわいの創出 地域資源を活かした魅力的な観光コンテンツの充実、インバウンド誘客の推進 デジタル化・DX推進による観光分野の受入環境・基盤づくり																																	
		4 広域拠点の役割を果たす 【数値目標】（R6→R12） 久留米広域連携中枢都市圏の圏域人口 44.7万人 → 43.6万人	(12) 拠点都市機能の発揮と広域連携の充実強化	① 高次都市機能の集積による拠点性の充実強化 ② 拠点都市機能の発揮による広域連携の推進	スマートインターチェンジなどの地域の核づくり、学術研究機能の活用・連携 産業基盤・高度医療などの機能集積を活かした広域求心力の強化 地域全体の成長・発展に向けた近隣自治体との連携の推進 連携中枢都市圏での人口や社会・経済活力の維持に資する取組の推進																																		